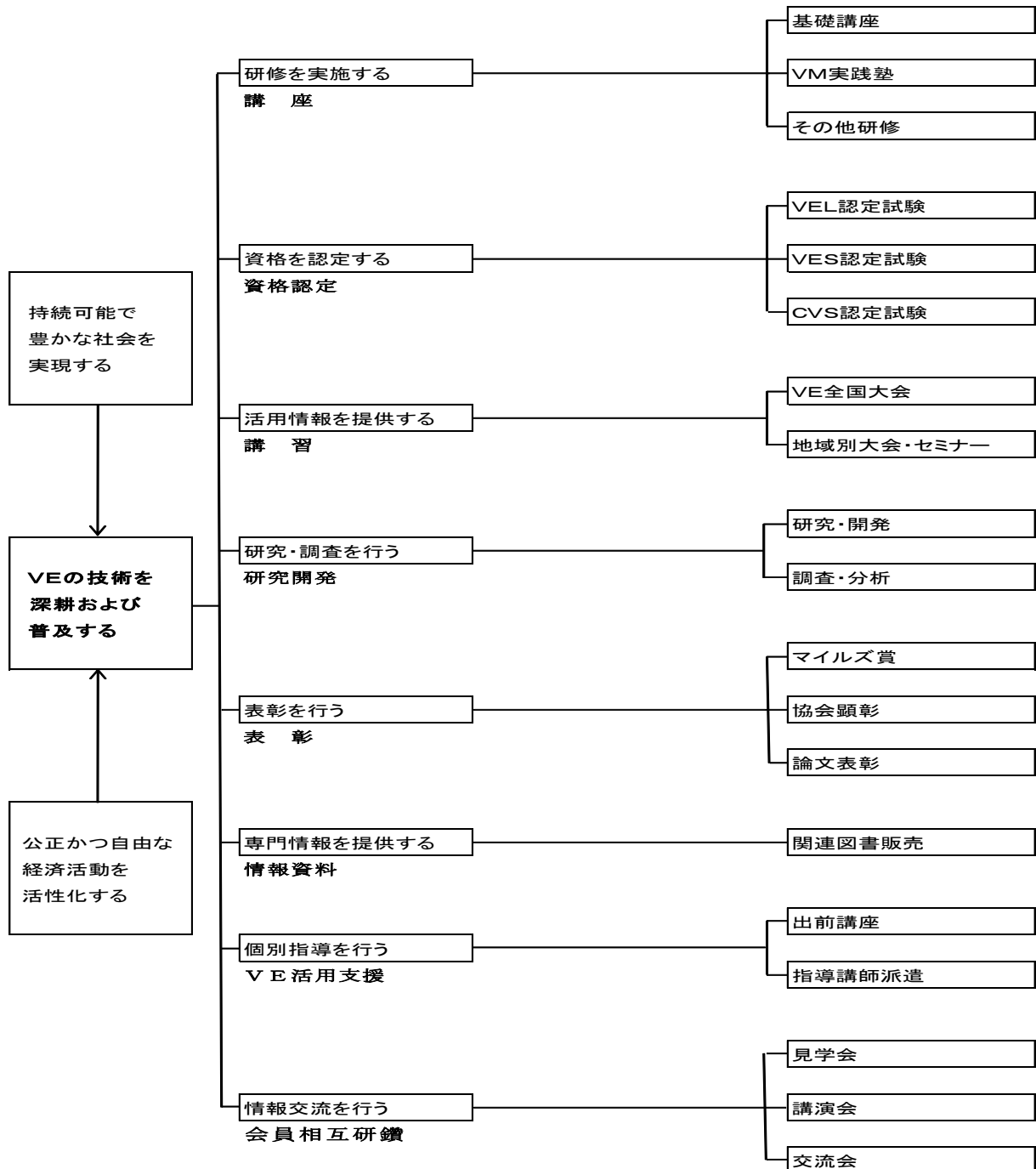


公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

2016年度 事業計画書

(2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで)

2016年度も引き続き、(1) 持続可能で豊かな社会の実現、(2) 公正かつ自由な経済活動の活性化、(3) VE技術の深耕・普及等を目的に、次の各事業を積極的に展開して参ります。



1. 講座

ここでは、次世代のVEリーダー育成を目的に、基礎知識の講義と活用手順の演習をあらゆる業種・職種の人や学生を対象に行う「VE基礎講座」、実務での活用・実践力を備えたVE専門家の育成を目的に、開発設計VE等の講義・演習をVEリーダー（VEL）有資格者又はVE基礎講座と同等の内容を学んだ人を対象に行うテクニカルスキルコース等がある「バリュー・マネジメント（VM）実践塾」、VEの実践を担える人材の育成を目的に、VEの概要をまず知りたいという人やVEの導入・実践を考えている人に対してその人達が職場で実際に抱えている問題や課題でVEのワークショップを行う「VE塾」等を開催する。

※ 以下講座の講師は、CVS（Certified Value Specialist）及びVEスペシャリスト（VES）の有資格者に委嘱することを原則とする。

1) 「VE基礎講座」の開催

VEの基礎を学び、VEL認定試験の受験要件を満たせる講座として12回開催する。

2) 「VM実践塾」各種講座の開催

(1) 「テクニカルスキルコース」として、6講座を開催する。

講座名	開催日	会場
業務革新のためのソフトVE	6月 9日・10日	日本VE協会
事業戦略をデザインする企画段階のVE（4日間）	7月 4日・ 5日 7月11日・12日	
生産性と効率化を目指す建設のためのVE	7月25日・26日	
アイデア発想で活用できる創造カトレーニング	8月 4日・ 5日	
開発設計のVE	8月22日・23日	
VEブラッシュアップ	10月 3日・ 4日	

(2) 上記コースと同様にVES認定試験の受験要件を満たせる「ビジネススキルコース」として、5講座を開催する。

講座名	開催日	会場
社内研修効果を高めるインストラクション技術	7月 1日	日本VE協会
独創的なアイデアを生み出すTRIZをVEで活用する方法	7月19日	
行動と結果を引き出す会議力向上講座	8月 1日	
提案を実行する技術プロジェクトマネジメントの基本	9月 5日	
思考の基礎を体系的に学ぶ考えるスキルの基本	10月13日	

- (3) 米国 V E 協会のモジュール II セミナーに相当する「アドバンスコース」として、4講座を開催する。

講座名	開催日	会場
V E チームを価値創造集団へと導くファシリテーション力	7月14日	日本 V E 協会
V E の原点的思考（機能分析中心）	8月 3日	
V E を組織的に適用するためのマネジメント	8月19日	
経営者を納得させる V E 提案書の書き方	9月 1日	

- (4) 「ワークショップコース」を設置し、V E ワークショップ・セミナーを必要に応じて開催する。

3) その他研修会等の開催

(1) V E L フォローアップセミナーの開催

“これならできるテアダウンの活用” セミナー等を開催する。

(2) その他 V E 関連セミナーの開催

V E S 受験勉強会や紹介セミナー、Webセミナー等の V E 関連セミナーを、必要に応じて随時開催する。

(3) 「V E の基礎」通信講座の開講

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、V E の基礎を学び、V E L 資格認定試験の受験資格を得られる機会を設ける。

(4) 西日本支部（中四国・九州地区）での V E 塾の開講

V E 塾という名称の V E ワークショップ・セミナーを広島及び九州の両地区で開催し、その成果を発表会で公表する。

(5) 西日本支部（東海地区）での V E 技術情報交流会の開催

V E や V E 関連技法、話題の改善技法等をテーマに演習（ワークショップ）とディスカッションを行い、参加企業での導入・展開を支援する。

(6) C V S による V E 技術者育成の支援

「C V S フォーラム」において、V E 技術者の育成を支援するための活動を行う。

(7) 公共機関での V E 技術者育成の支援

地方自治体を中心に構成されている「全国設計 V E 推進研究会」を支援すること等で、公共機関での V E 技術者育成を支援する。

(8) 教育機関でのVE導入・普及

大学でのVE教育を支援するほか、ESD (Education for Sustainable Development) やPBL (Project Based Learning)、AL (Active Learning) へのVE導入を促進する。

(9) 海外でのVE導入・教育の支援

- ① JETRO (日本貿易振興機構) バンコク事務所からの要請に応じ、「タイ自動車人材育成プロジェクト」の一環で行われている現地企業対象のVE事例研修のほか、現地日系企業におけるVE研修等を支援する。
- ② 上海VE協会が開催する中国でのVE研修等を支援する。
- ③ フィリピン経済開発庁 (NEDA) 発注の公共事業において現地コンサルティング会社が行うVE検討を支援する。

(10) 「経営者フォーラム」の開催

経営者層にVEを理解し組織でのVE活用を促進してもらえるようにするための「経営者フォーラム」を、理事会と同じ日に3回開催する。

2. 資格認定

ここでは、企業・団体等の組織でVE活動のリーダーを務めるために必要な基礎知識を習得していると認められた人に授与される「VEL」資格、責任者・担当者としてVE活動の実施・推進の任に就くVE専門家として備えるべき諸知識や技術を習得していると認められた人に授与される「VES」資格、VEに関する知識・技能・経験が極めて高い水準に達していると認められた人に授与される「CVS」資格の認定を行う。

また、有資格者を対象とした継続教育のための冊子「バリュー・コンピテンシー」誌及び「バリュー・エンジニアリング」誌の編集・無料配付や、VEに関する知識及び技術水準等向上の機会提供を目的に、VES又はCVSの活動分野や活動内容等を情報公開(希望者のみ)するデータベース「VE専門家検索システム」の運用も行う。

1) 資格認定制度の整備・体系化

米国VE協会が予定している“CVS資格認定制度変更”への対応を検討する。

2) 資格認定試験の実施

第41回 VEL 認定試験	4月18日～ 7月31日【CBT方式】
第42回 VEL 認定試験	9月 1日～ 2月28日【 ” ” 】
第19回 VES 認定試験	12月 3日
第37回 CVS 認定試験	10月 1日

※ 上記のほか、タイ、中国でVEL認定試験を実施し、その他海外での同試験実施のための調査・準備を行う。

3) 「バリュー・コンピテンシー」誌の編集・発行

主にVEL有資格者（A登録者）の総合的なスキルアップとVE技術者としてのキャリア形成支援を目的に「バリュー・コンピテンシー」誌の電子版を編集し、季刊で4回発行する。

4) 「バリュー・エンジニアリング」誌の編集・発行

CVS及びVES有資格者のVE技術水準の維持・向上を主目的に、VE活動事例やVEに関する研究成果・国内外各種文献情報等を収載した「バリュー・エンジニアリング」誌を編集し、年4回発行する。

5) 更新登録の実施

VEL、VES、CVS登録者の更新登録（終身登録を含む）を行う。

6) VE専門家の紹介

協会Web Site内に「VE専門家検索システム」を設け、同システムへの登録を希望するCVS・VES有資格者を広く一般に紹介する。

3. 講 習

ここでは、VE活動推進の参考になるノウハウやヒント、さまざまな関連情報の提供を目的に、VEに興味がある人やVEL等の有資格者、学生等を対象とした「VE全国大会」、VE関西大会等の「地域VE大会」、及びVE阪神セミナー等の「VEセミナー」を開催する。

1) 第49回「VE全国大会」の開催

会 期	10月25日～26日【2日間】
会 場	アルカディア市ヶ谷

2) 地域VE大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

大会名	開催日	開催地
第48回 VE関西大会	2月17日	大阪府大阪市
第60回 西日本VE大会	(未 定)	(未 定)

3) VEセミナーの開催（西日本支部 関西地区）

セミナー名	開催日	開催地
VE阪神セミナー	7月15日	大阪府東大阪市
VE京滋セミナー	11月18日	京都府京都市

4. 研究開発

ここでは、組織運営のあらゆる領域でVEを展開できるようにすることを目的に、企業人が中心となって経営の諸機能から抽出したバリュー・インデックスを手掛かりに経営上の重点分野・優先順位を見つける価値企画という方法を開発する価値企画研究会等の「開発研究会」、実務で展開するためにVEの導入や水平展開を模索している人がVE推進や実践上の課題等について研究を行うVE推進部会等の「機能別部会」、2時間VE手法のさらなる洗練化や活用局面拡大等を目的に、ゼネコンや設計コンサルタントなど建設関連企業のVE入門者や推進実務担当者が具体的なテーマでの演習等を通じて同手法についての研究等を行う中部建設VE研究会等の「専門研究会」を設置する。

1) 組織体制再編の検討

「バリュー・マネジメント・アカデミー（VMA）」で研究開発を企画し、VMAが設置する開発研究会で研究開発を行うという現在の組織体制を見直し、今後の研究開発のあり方を再検討する。

2) 先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

VMAが設置する「価値企画研究会」の中間レポートをVE資料として纏め、公表するとともに、今後継続して研究を行うかについて検討する。

3) 各支部での実務的研究の推進

(1) 機能別部会での研究活動

東日本支部に6つの機能別部会を設置してVEに関する実務的な研究を進め、その成果を報告会又はレポート（VE資料）等で広く公表する。

① マネジメント部会	② VE推進部会	③ マーケティング部会
④ R&D部会	⑤ ものづくり部会	⑥ 社会インフラ部会

(2) 専門研究会での研究活動

西日本支部の東海地区と関西地区に専門研究会を設置してVEに関する実務的な研究を進め、その成果を発表会又はレポート（VE資料）等で広く公表する。

東海地区	① 中部建設VE研究会
関西地区	① つかいやすいTRIZ研究会 ② 経営革新を生み出す生き生きVE研究会 ③ VEツール研究会 ④ 実践原価企画研究会 ⑤ サービス領域でのVE適用方法研究会

4) プロジェクト形式での研究及び検討

(1) Reverse Value Innovation（仮称）の研究

“不便さの効用”に着目し、VEやTRIZを活用した新たな価値創造プロセスの構築についての研究を行う。

(2) 海外調達拠点及び海外調達先との共同VEに関する研究

上海VE協会と提携して、海外調達拠点及び海外調達先との共同VEに関する事例の調査及び検討を行い、有効な実施手順を纏めるための研究を行う。

(3) 公共事業におけるVMの研究及び普及促進検討

VMAが設置している「公共事業のVM研究会」を改組し、公共事業の発注者がVEの段階別適用やVE活用のための人材育成及び組織作りについての研究を行うとともに、公共事業でのVE普及を促進するための施策検討や情報発信等を行う。

(4) Social Value Innovation（仮称）の検討

ESDやPBL、ALへのVE導入検討のほか、地域住民やNPO等による社会的課題解決（Social Design）や企業におけるCSV（Creating Shared Value）等へのVE適用について検討し、事業化を図る。

5. 表彰

ここでは、資源の有効活用による持続可能な社会の実現に向けたVE活用促進の奨励を目的に、VE活動で顕著な成果を挙げている企業又は団体の部門又は事業部門等を対象とした「マイルズ賞」、経常的な活動展開への動機づけや規模の大小を問わず企業等におけるVE活動の促進・活性化を目的に、研究開発、普及促進及び本会諸活動で顕著な成果を挙げた人又はグループを対象とした「協会顕彰」、VE技術水準の向上とVE活動のさらなる活性化等を目的に、バリュー・エンジニアや公的機関、学生等を対象とした「VE研究論文及びVE活動事例」の審査と賞の授与を行う。

1) 「マイルズ賞」の審査・授与

次の各賞について、応募のあった企業又はその事業部門、自治体など公共団体の審査をマイルズ賞規程にもとづいて行い、その結果授賞が決定したところの授賞式を第49回「VE全国大会」で行う。

- ① マイルズ賞
- ② マイルズ賞本賞
- ③ マイルズ賞特別賞

2) 協会顕彰の実施

次の各賞について、顕彰規程にもとづき、V Eの研究開発や普及促進等について功績を挙げた個人や団体等に第49回「V E全国大会」で授与する。

- ① 研究開発功績賞
- ② 普及功労賞
- ③ 協会賞（V E経営者賞、V E功労賞、V E国際功労賞、V E特別功績賞、V E学術功績賞、普及功労特別賞、V E活動優秀賞）

3) V E研究論文及びV E活動事例の審査・表彰

V E研究論文及びV E活動事例を第49回「V E全国大会」の開催にあたって募集。応募のあった論文及び事例の審査を「論文審査委員会」で行い、その結果入選となったものの表彰・発表を同大会で行う。

6. 情報資料

1) V E関連専門図書の販売

V Eの学習及び研究、普及促進に資するため、V E関連専門図書を仕入れて販売する。

2) その他資料の発行

第49回「V E全国大会」V E研究論文集・資料集、V E普及のための図書等を発行するほか、アイデア発想ラベル・機能定義カード、V E Lバッジ等、V E実施や推進のためのアイテムを販売する。

3) 講座テキスト等の翻訳・発行

講座テキストやV E資料等を英語、中国語、タイ語、スペイン語等に翻訳し、発行する。

特に中国語版については、上海V E協会の協力を得て、V E解説書の『利益を生み出す方程式』などV E関連の資料図書を発行する。

4) V E研究論文及びV E活動事例のネット販売

- (1) 協会Web Site内に開設したV E論文検索・購入サイト「V E論文navi」上で電子化した過去のV E研究論文を販売する。
- (2) V E事例検索・購入サイト「V E事例navi」を協会Web Site内に開設し、電子化した過去のV E活動事例を販売する。

7. VE活用支援

1) 出前講座の実施及び指導講師の派遣

企業・団体等からの要請に応じて出前講座を実施、又は指導講師を派遣し、VEの個別指導やコンサルティングを行う。

2) VEワークショップ・セミナー（48時間以上）の認定

企業や団体が主催するVEワークショップ・セミナー（48時間以上）のうち申請のあったものについて審査・認定を行い、その修了者がVES認定試験の受験要件であるVE学習経歴を満たせるようにする。

8. 会員相互研鑽

1) 見学会・講演会等の開催

各支部において各種の見学会・講演会等を活動計画にもとづいて開催し、VEに関する情報交流を行う。

9. 広報活動

1) 協会Web Site等による情報発信等

協会Web Siteをインターネット上で運営する。情報の定期更新を行い、VEや本会に関する最新情報発信のツールとして有効に活用する。

また、ブログやFacebookと連携させることで、発信力の強化を図る。

2) メールマガジンによる情報発信

メールマガジン「VE情報メール」を毎月1回発行し、VEや本会に関する最新情報を積極的に発信する。

また、主催する大会・セミナー等の案内や募集などPR活動にも積極的に利用する。

3) 非製造領域での普及促進

非製造領域へのVE導入に向けて、調査やPR、セミナー等を積極的に行う。

10. 会 議

1) 定時総会の開催

第6期 定時総会	6月15日
----------	-------

※ 上記のほか、必要な場合には臨時に開催する。

2) 理事会の開催

第17回	第18回	第19回	第20回
5月11日	6月15日	9月 1日	3月17日

※ 上記のほか、必要な場合には臨時に開催する。

3) 「本部企画委員会」の開催

理事会に合わせて、年度内に1～2回開催する。

以上